



～11.18 現業評交渉時～



現業議長 永洞 俊司

岩手県職労 現業評ニュース

発行日

2022年1月1日

発行責任者

岩手県職労

現業評議会

教育宣伝委員会

2022 新春
新年あいさつ



年の初めにあたり、現業評議会を代表し、連帯の挨拶を申し上げます。
 昨年はコロナ感染拡大防止のため、行動が抑制される中、諸活動へのご協力をいただきましたことに対し、感謝いたします。

全国的に横行する運転技士の任用替え、近県山形での、職種替え提案、新潟県では、原則不補充など、運転技士にとって厳しい環境にある中、2021年度は県庁管財課に3名の新採用職員が配属されました。

一方で、振興局土木部の運転技士は退職不補充が続き、今年度遠野振興局では再任用満期者の補充を会計年度任用職員に置き換えられ、正規の運転技士が0という事態になりました。運転技士の配置に関し、人事課・県土整備企画室ともに一定の理解を示しつつも「現時点(11/18)で詰めの段階である」とし、明言を避けたため、動向は不透明なままです。

現業評議会の要求に沿った配置となるか、引き続き協議し、再交渉を設定して改めて求めていく必要があります。

賃金改善も図らなければなりません。26・7年ほど前に催された賃金学習会の冒頭「お前ら頭にこないか!？」と当時の現業議長「故岩崎勝弥氏」に一喝されました。採用になったばかりで安堵感に満ちていた私には理解しがたい言葉でした。何せ、給料表では7級、増設した特号まであり、最高号給で月額40万を超し、一時金は三桁に達し、退職金に係る月数も今より多かったです。60歳定年後すぐに年金ももらえたのですから(今の人より少し老けてはいましたが～失礼～)羨ましい限りです。

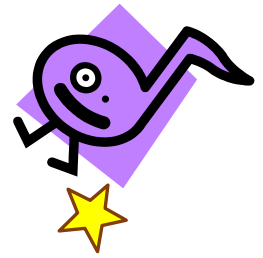
その後2000年の給与構造改革により7級から6級に切り下げられ、2009年には国にないことを理由に6級が廃止され、生涯賃金が大幅に目減りしました。

退職不補充が続き非正規に置き換えられ、近年、会計年度任用職員化による時短、雇止めによる人員減などにより、職員負担が増えています。

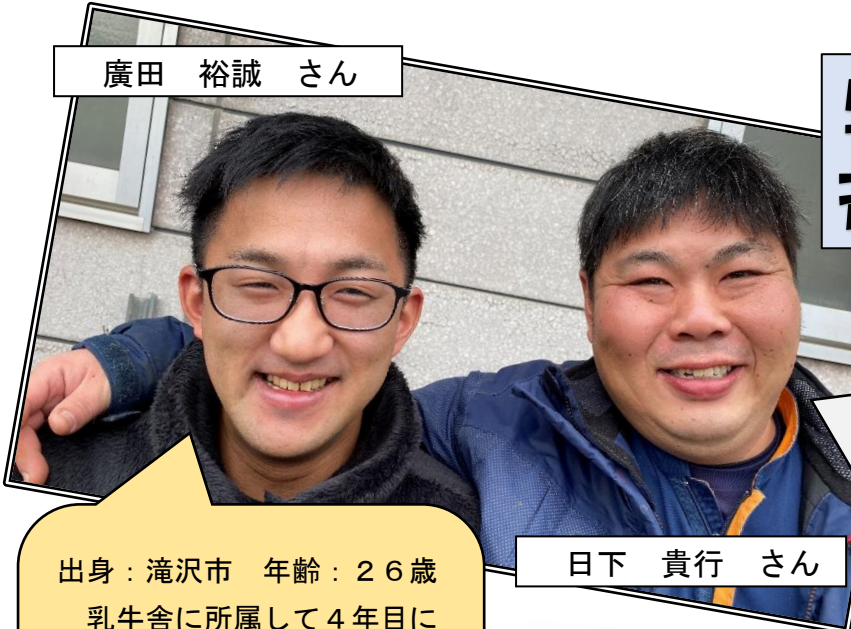
憤懣やる方なし。労働環境が悪化している代償として賃金改善により購うよう要求するのは当然です。

今まで以上に、より強い姿勢で交渉に臨み、人員課題・賃金課題共に改善するよう求めていく決意を表明し、ご挨拶に代えさせていただきます。

新組合員紹介 ~2016年度以降加入~



廣田 裕誠 さん



盛岡支部 畜産研究所

出身：一関市（室根）

年齢：38歳

採用4年目になります。

仕事も組合もまだまだ勉強しなければと思っています。

よろしく願い致します。

出身：滝沢市 年齢：26歳
乳牛舎に所属して4年目になります。

一生懸命頑張っているつもりです！！

よろしく願い致します。

日下 貴行 さん



日山 将太 さん

二戸支部 県北農業研究所

出身：軽米町 年齢：25歳

技能員として5年目になりました。

これからは、今まで以上に専門的知識・技術が求められるとおもいますので、精一杯頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

